

令和4年度全国学力学習状況調査結果(中学校)

和光市教育委員会調査結果概要

◆教科に関する調査結果

〈中学校概要〉

平均正答率(単位%)

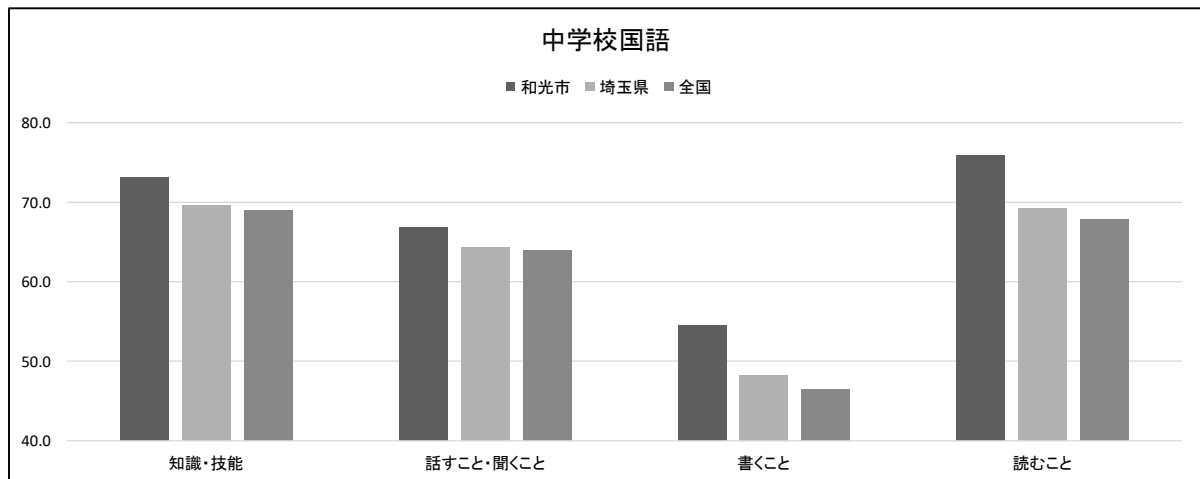
教科	和光市	埼玉県	全国
国語	73.0	70.0	69.0
数学	58.0	52.0	51.4
理科	54.0	49.0	49.3

○国語、数学、理科共に全国平均・県平均を上回っている。特に数学は全国平均よりも4.8ポイント、県平均よりも5.0ポイント、理科は全国平均より4.7ポイント、県平均より5ポイントと大きく上回っている。

〈中学校国語〉

平均正答率(単位%)

学習指導要領の領域等での区分	和光市	埼玉県	全国
知識・技能	73.1	69.6	69.0
話すこと・聞くこと	66.8	64.3	63.9
書くこと	54.5	48.3	46.5
読むこと	75.9	69.2	67.9



○すべての区分(知識・技能、話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)で、県平均、全国平均を上回っている。

○大きく上回っているところ(5ポイント以上)

- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。
- ・表現の技法について理解する。
- ・場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える。
- ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する。

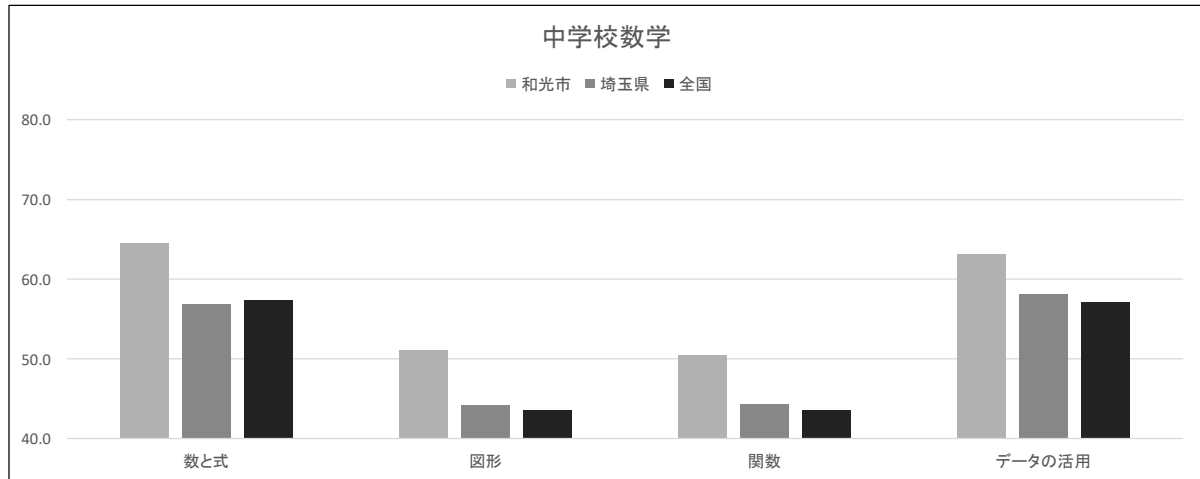
○上回っているが、さらに伸びるとよいところ(正答率60%以下)

- ・自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す。
- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。
- ・表現の技法について理解する。
- ・行書の特徴を理解する。

<中学校数学>

平均正答率(単位%)

学習指導要領の領域等での区分	和光市	埼玉県	全国
数と式	64.6	56.9	57.4
図形	51.2	44.2	43.6
関数	50.5	44.3	43.6
データの活用	63.2	58.2	57.1

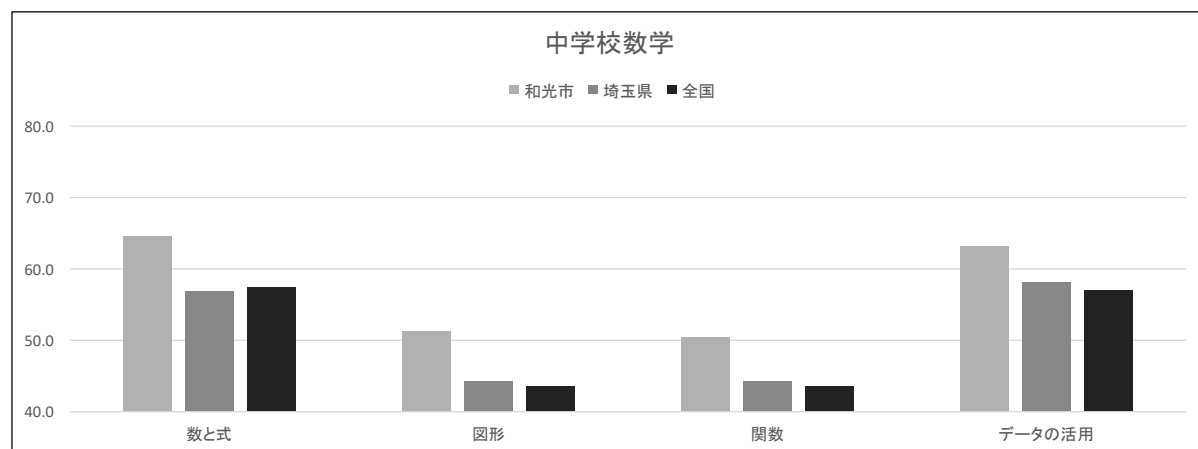


- すべての区分(数と式、図形、関数、データの活用)で、県平均、全国平均を上回っている。
- 大きく上回っているところ(10ポイント以上)
 - ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。
 - ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。
 - ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。
 - ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している。
- 上回っているが、さらに伸びるとよい問題(正答率50%以下)
 - ・一次関数の変化の割合の意味を理解している。
 - ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる。
 - ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。
 - ・筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる。
- 県平均、全国平均を下回っている問題
 - ・素数、一次関数の問題で、若干平均を下回っている。

＜中学校理科＞

平均正答率(単位%)

学習指導要領の領域等での区分	和光市	埼玉県	全国
エネルギー	46.8	41.1	41.9
粒子	54.7	50.5	50.9
生命	63.2	57.9	57.9
地球	48.4	44.1	44.3



- すべての区分(エネルギー、粒子、生命、地球)で、県平均、全国平均を上回っている。
- 大きく上回っているところ(10ポイント以上)
 - ・日常生活や社会の中で物体が静電気を帯びる現象を問うことで、静電気に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる。
 - ・予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見通しをもつことができるかどうかをみる。
- 上回っているが、さらに伸びるとよい問題(正答率40%以下)
 - ・飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる。
 - ・化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる。
 - ・力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる。
 - ・地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながら、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる。
 - ・未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる。
- 県平均、全国平均を下回っている問題
 - ・実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善できるかどうかをみる。